

母相姦・翻百合



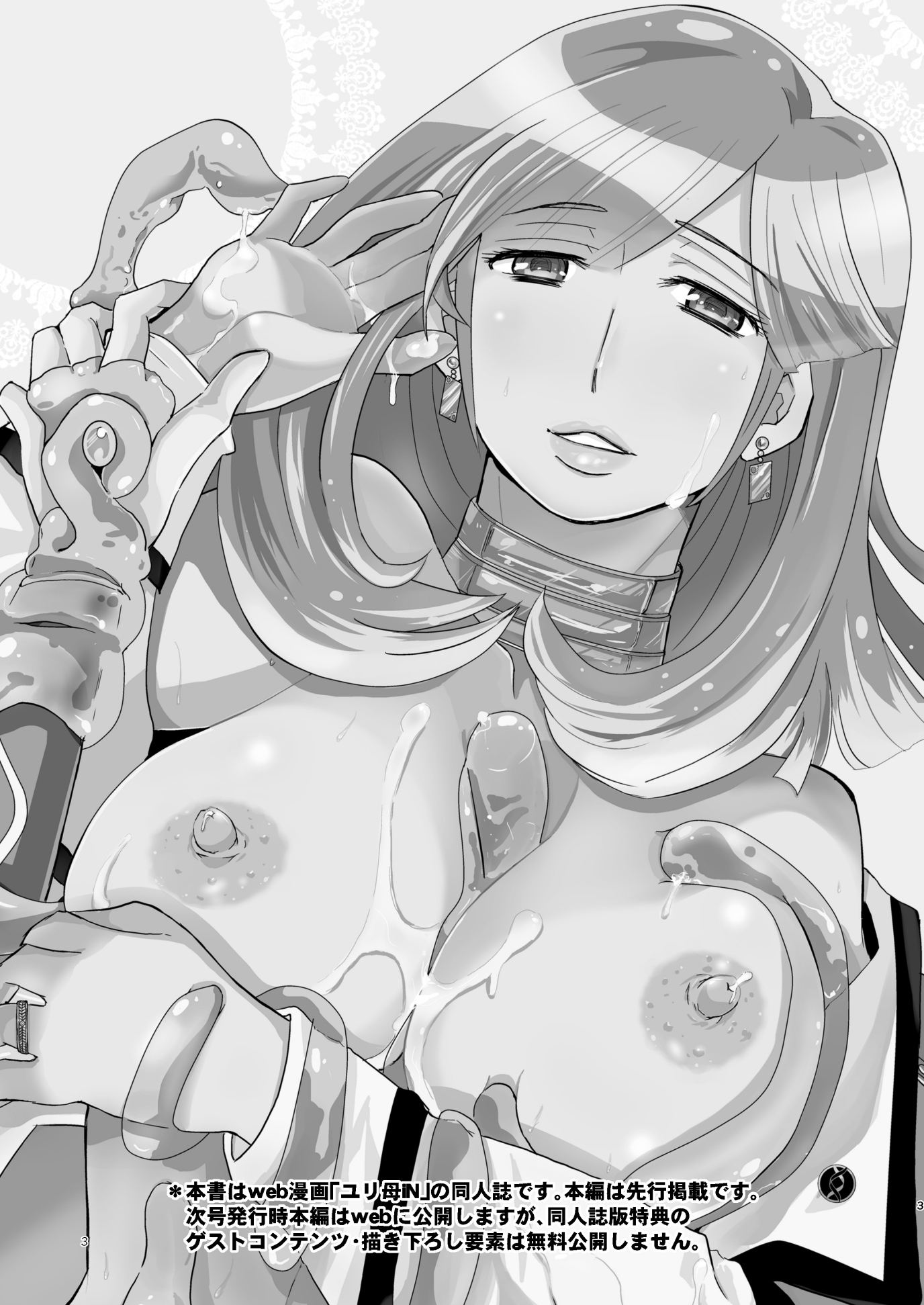
ビ
ア
チ
カ

18
ADULT
ONLY

ユ
4
i
V

S, 夜紫蛇

Vol.3 ママをください



*本書はweb漫画「ユリ母IN」の同人誌です。本編は先行掲載です。
次号発行時本編はwebに公開しますが、同人誌版特典の
ゲストコンテンツ・描き下ろし要素は無料公開しません。



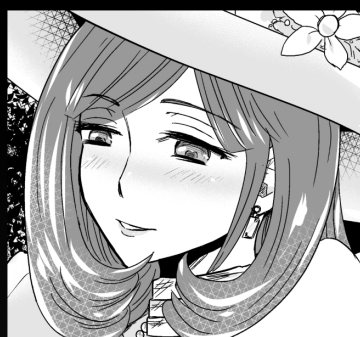


目次

扉絵	3
目次	4
3 話: ママをください	5
4 話予告	44
設定画	46
ゲストイラスト・漫画／左利き殿	48
小ネタ: かあさまといっしょ 2	52
ゲスト小説／ツツラカツサ殿	53
再録イラスト	60
ユリ母 iN& ビアチカ告知	64
奥付	66

*** 体験版は3話前編途中までと
後編やゲスト原稿のサンプルを
収録してます**

作/S,夜紫蛇
監修/水月モニカ
ロゴデザイン/カオリンミノーグ
表紙デザイン/ツツラカツサ



雨蘭



純(憑依)

蒼羅

前回までのSTORY

水無月蒼羅には二人の母親がいる。
企業都市を牛耳る六原コンツェルンの幹部・六原純<母様>と、
その愛人・水無月雨蘭<ママ>。

八年前に純が死に、純の後継者として雨蘭の手で育てられてきた蒼羅。
しかし成長するにつれ、雨蘭のことを女として意識するようになっていった。
蒼羅が想いを告げた夜、戸惑いながらも雨蘭は肌を重ねてくれた。

恋敵である純をようやく追い抜いた、そう思っていた蒼羅。しかし秘書・リーベルと
雨蘭が絡み合う姿を見てしまう。
その時、蒼羅の中にいた純が目覚め、蒼羅の身体を使って二人に『仕置き』をする。

蒼羅の身体を使えるようになった純は、蒼羅と雨蘭のデート中に現れ雨蘭と交わる。
生前抱えていた性嫌悪が消え、娘と自分、どちらの処女が欲しいかと雨蘭を煽る純。
唐突に硬い蕾に肉棒を突き立て、雨蘭が笑う。

「もう誰にも渡さない。私だけの純になって」



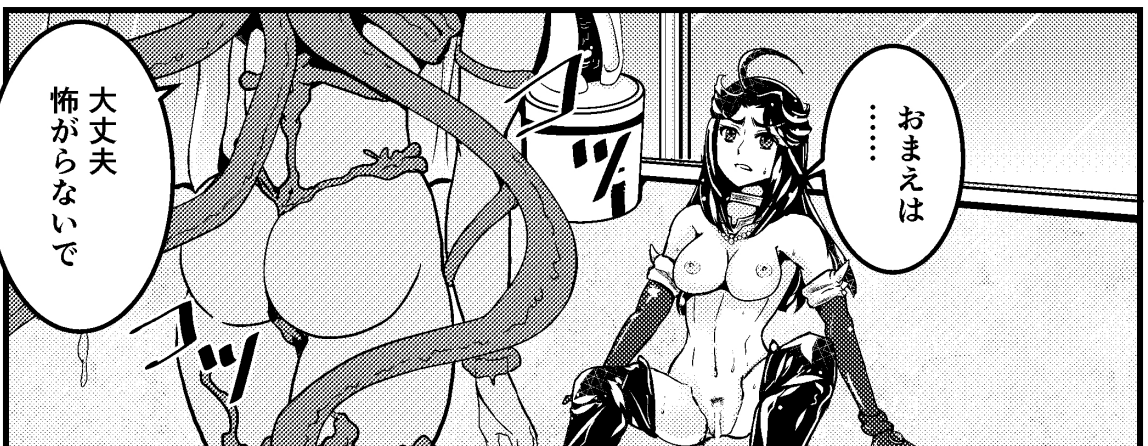
雨蘭
おまえ……



今度こそ私の
私だけの
純になって

もう誰にも
渡さない

6



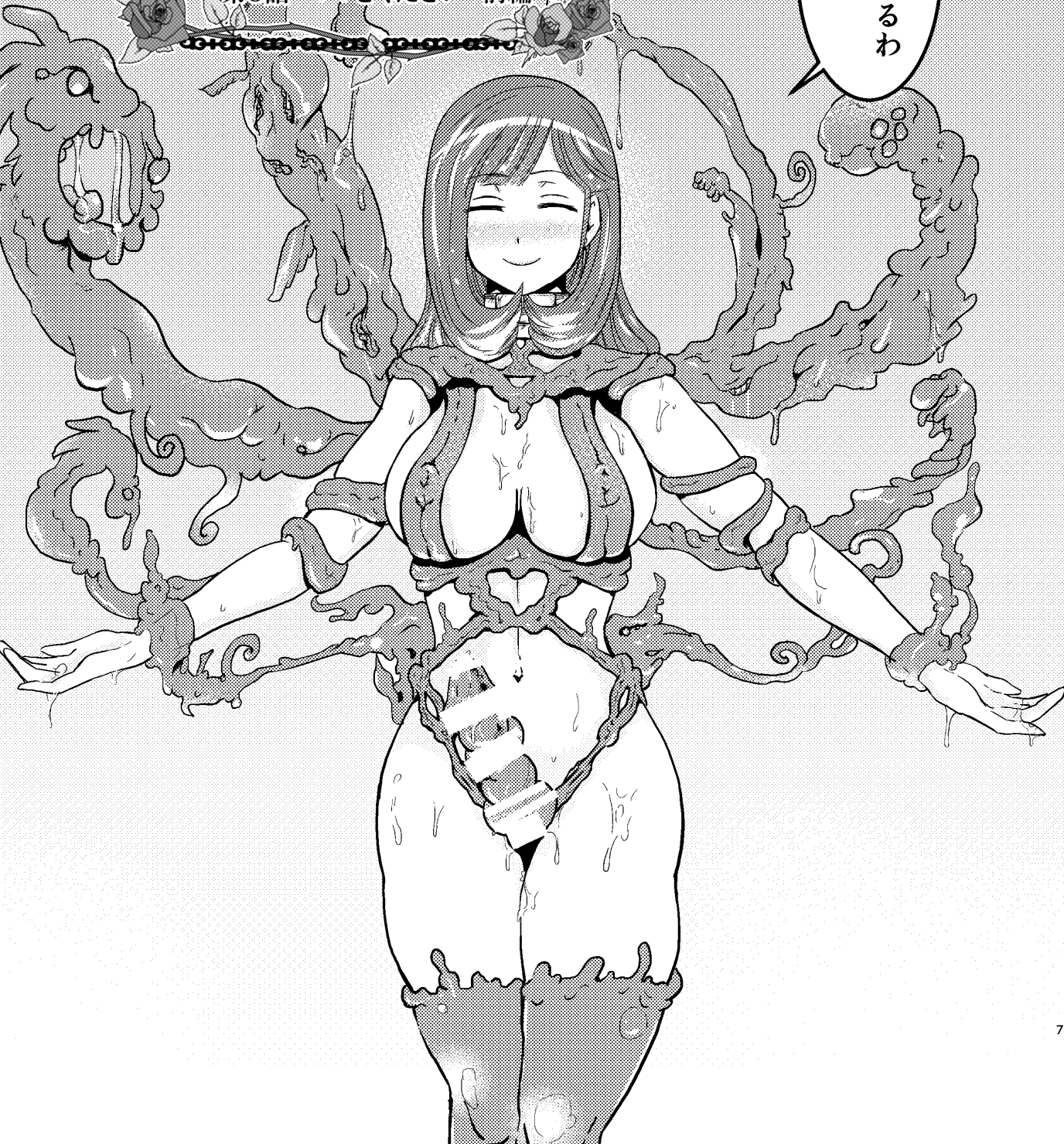
大丈夫
怖がらないで

おまえは
……

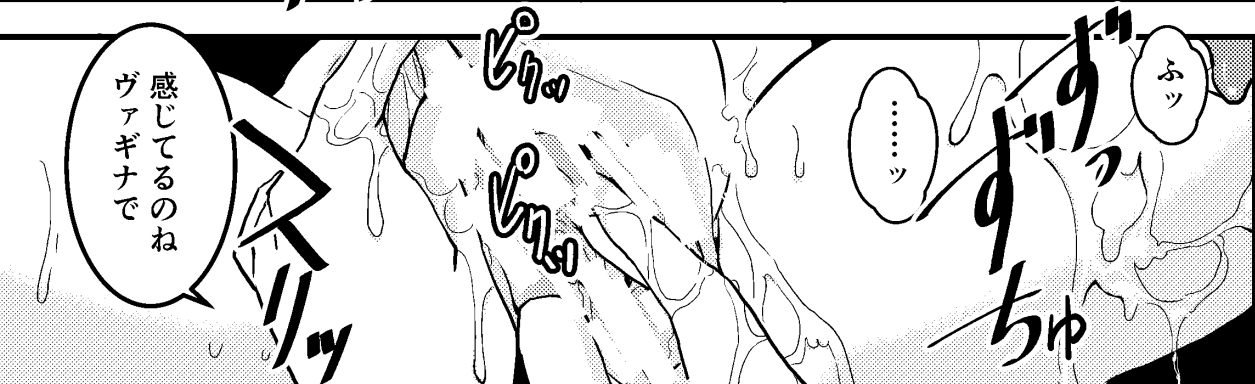
ユウイナ

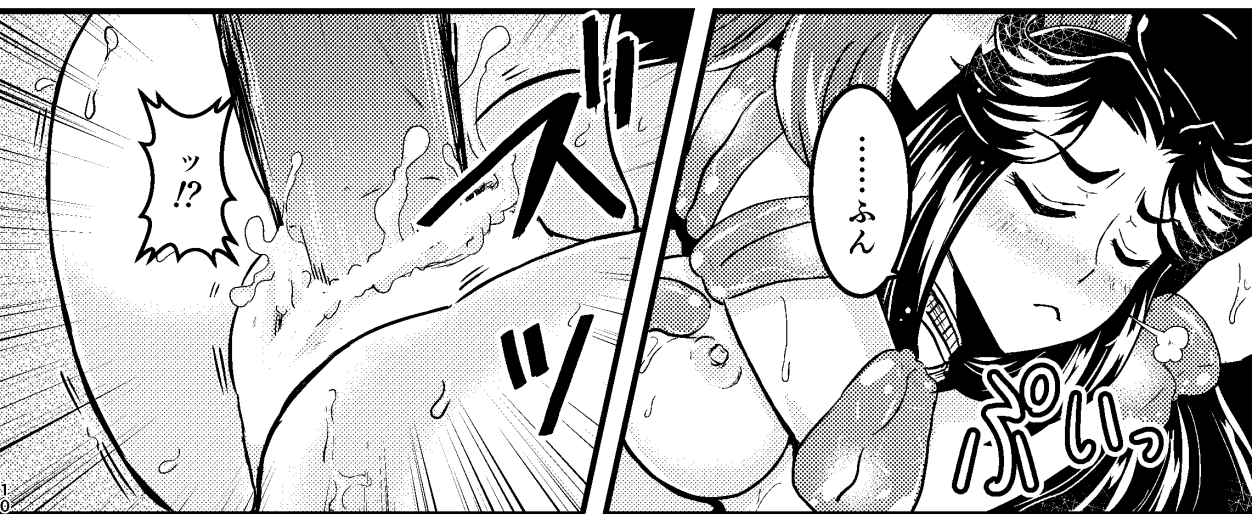
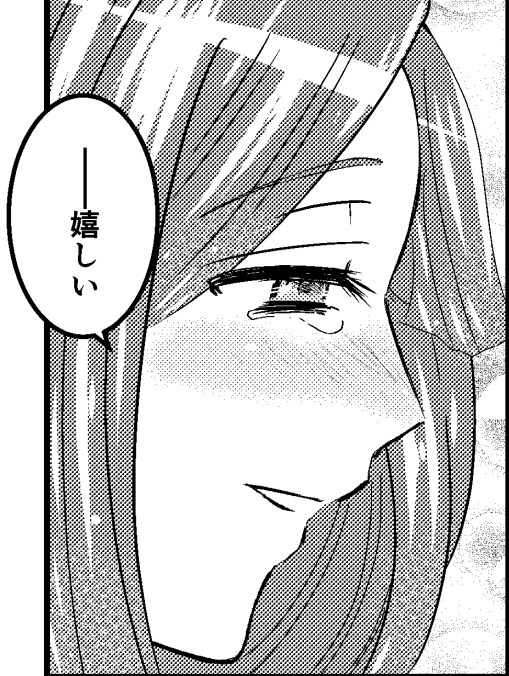
第3話 ママをください 前編

純愛
♥ しているわ











……ッ
誰がッ

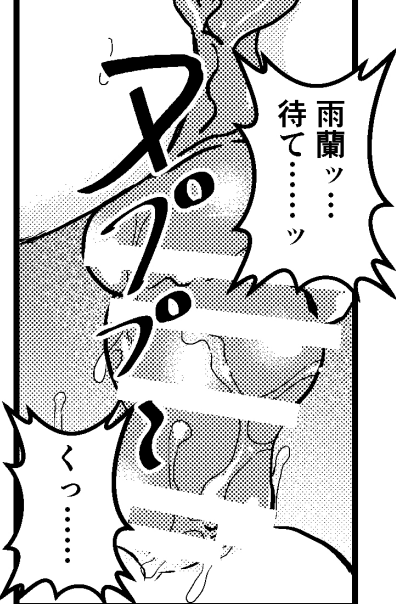
——純



抑えないで
聞かせて

純の
可愛い声

う……
うぐッ……



雨蘭ッ……
待て……ッ



ヴァギナで
逝っても

あなたは
私のご主人様

素敵な
純のままよ?

ふ……
ふ……

くちゅ
くちゅ

ッ……
雨蘭……

うあつ
ああッ!!

純ッ♡

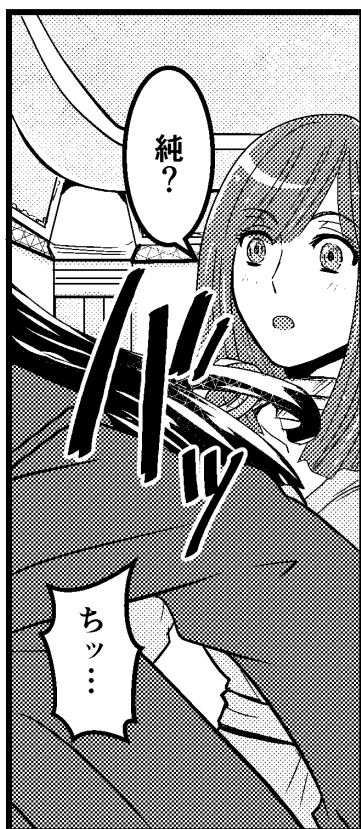
純ッ♡

あ……
ああああッ

やあつ♡
溶けちゃうッ

もっともつと純と
繋がりたいのに
全部とけちゃう♡♡

ああ……
可愛い
わたしの純♡



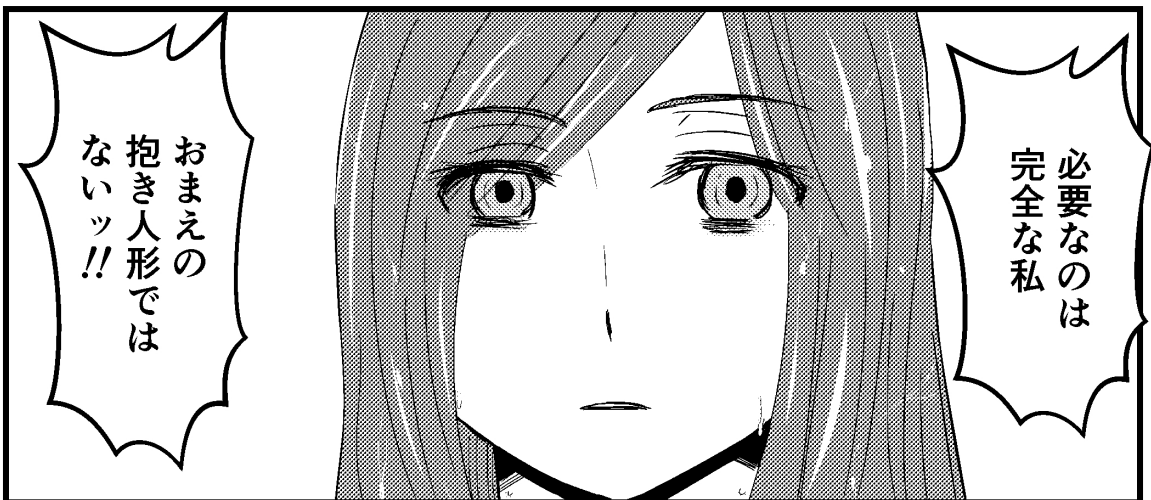


これは
六原の呪縛を
断ち切るための器

おまえの様な
粗悪な汎用体
ではない

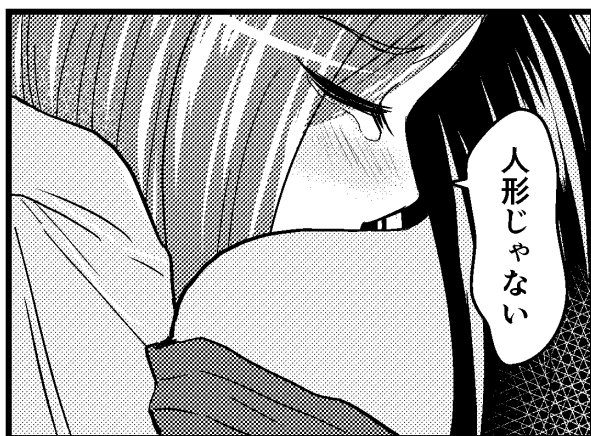
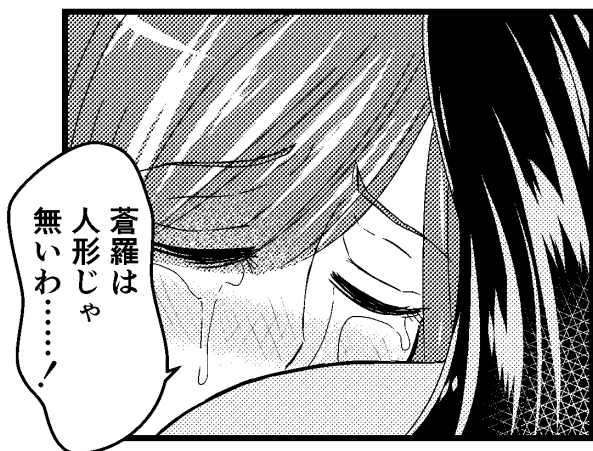
我が技術の粋
再現体！

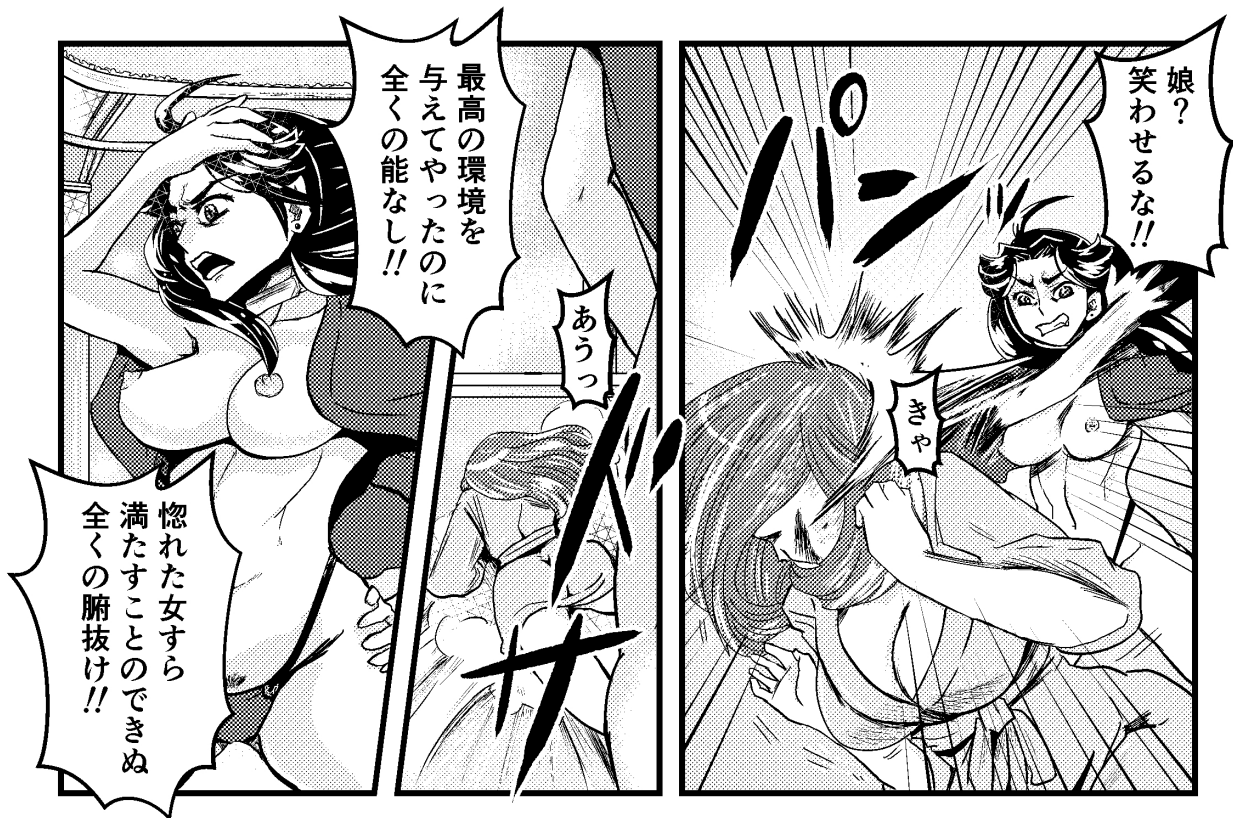
何者にも
縛られぬ
新たな肉体



必要なのは
完全な私

おまえの
抱き人形では
ないッ！！









蒼羅の育成計画
言われた通り
やったわ

あなたが
帰って来て
くれると信じて



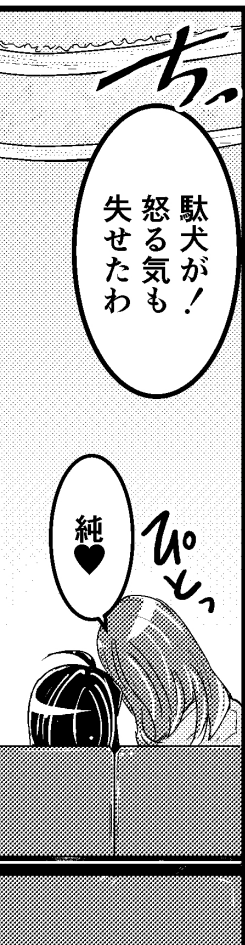
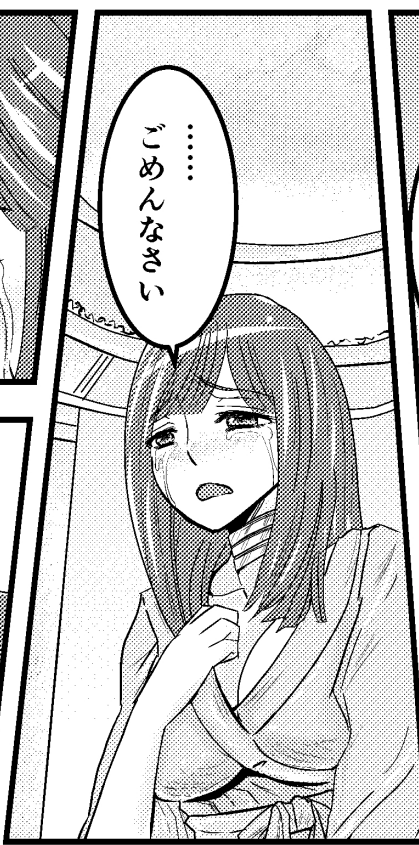
だから私
貴女の恥に
ならないように
蒼羅を
厳しくしつけて……

頼んでいない
余計なことをするな

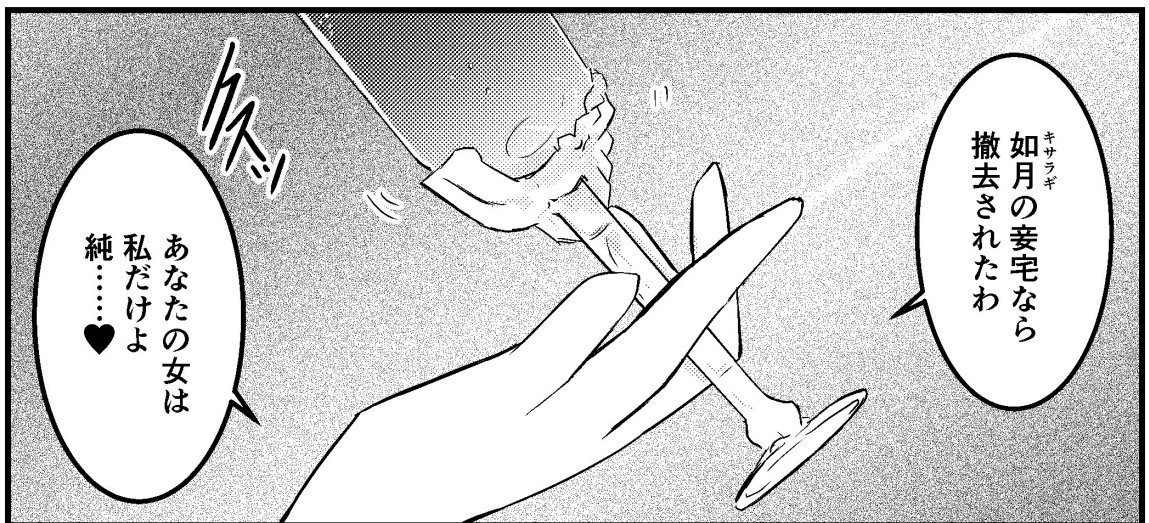
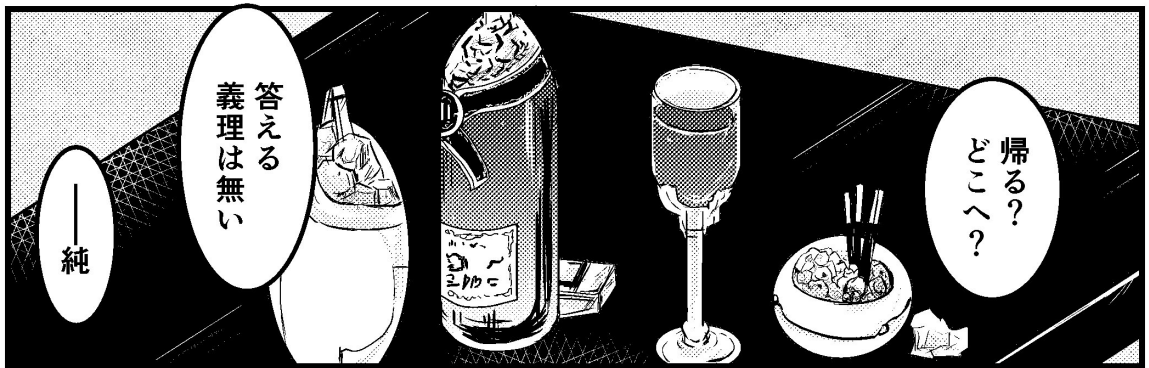
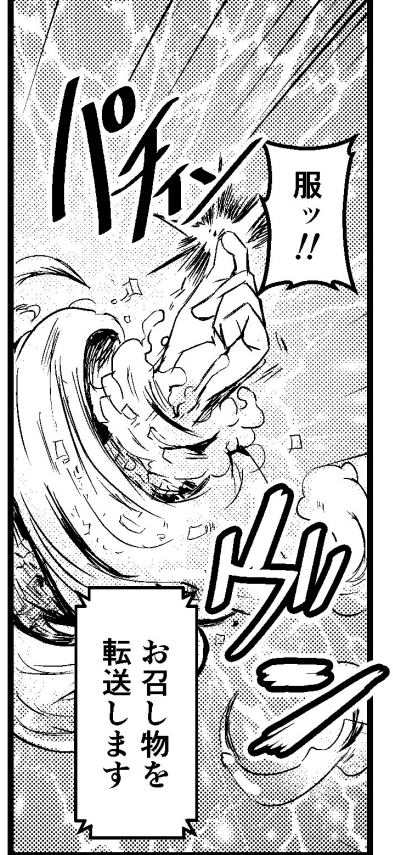


また
3人一緒に
暮らせる

それだけが
支えだったの









オマケ漫画&ペーパー再録画



4話予告

全2頁

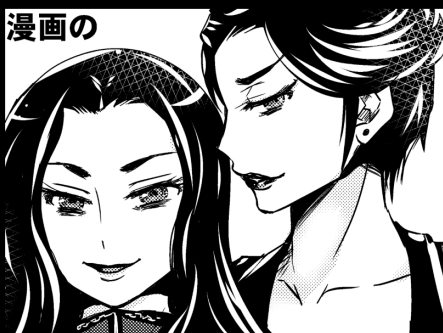
水無月蒼羅
六原純
六原清美

オマケ漫画

水無月蒼羅
水無月雨蘭
六原純



再録イラスト





- 次頁からは左利き様のゲスト漫画。
六原総帥(純と清美の母)×清美の18禁母子相姦百合漫画です！
ビアチカのEnty&Fantiaでは500円以上の支援者様向けに
2017/1月末先行公開してます。詳細は巻末にて
- 清美設定画を公開時に、左利き様に清美のイラストを描いていただきました。
左利き様のpixivに投稿されてます。(pixivID : 92527)
当時清美は1話冒頭チラッと登場のみのモブでした。
素敵に描いていただけ、とても嬉しく、今回ゲストにお招きしました。
左利き様、ありがとうございます！



お母様...

あ...♡

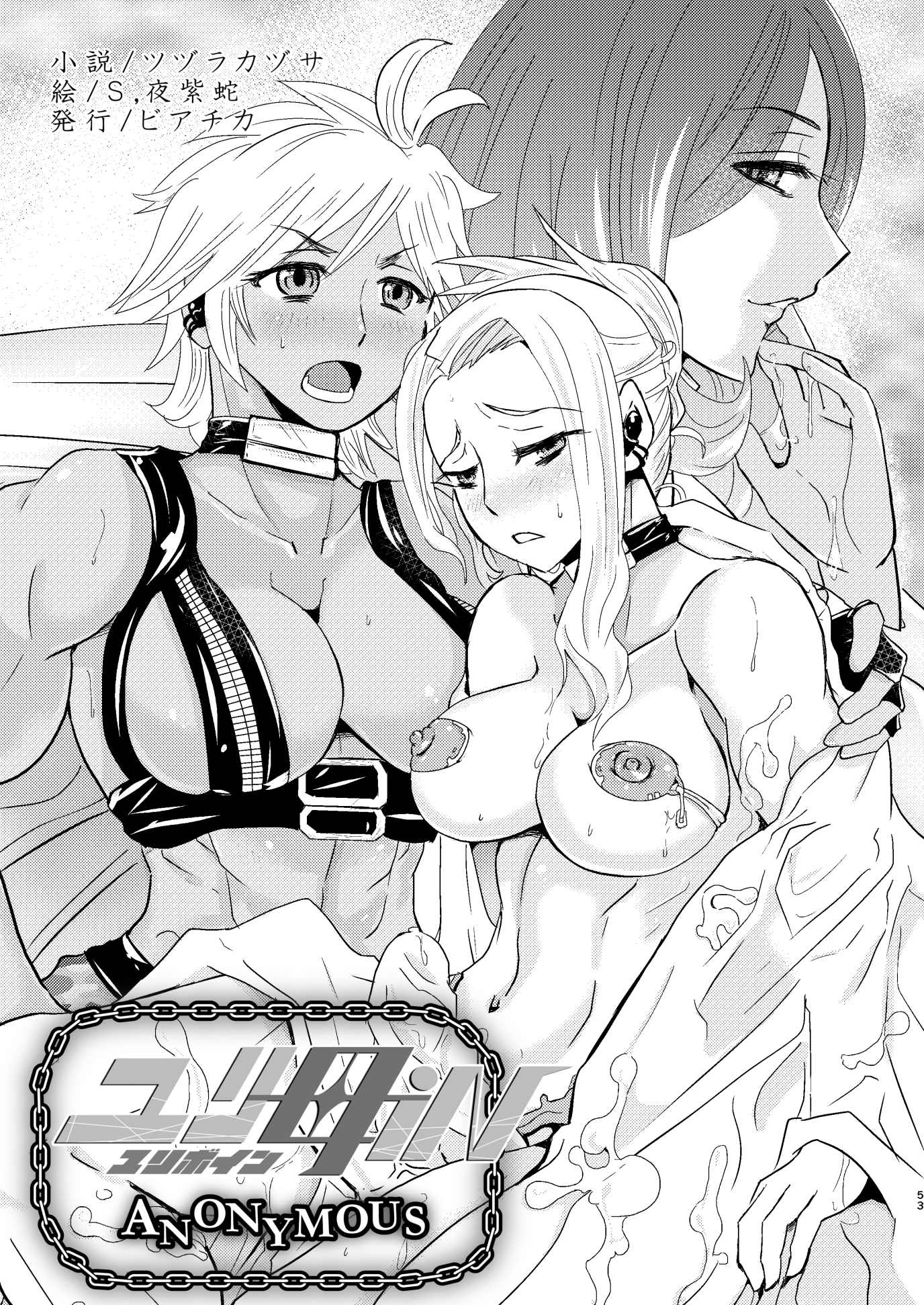
ん...♡

軽く
イッたようね

ふふ

ズンズン

小説 / ツツラカザ
絵 / S, 夜紫蛇
発行 / ビアチカ



匿名
ANONYMOUS

『ANONYMOUS』

「最近、奥様のご様子が少々おかしいの」

そうリーベル・雪代がカヒリエ・武藤に呟いたのは、先月の定例報告の時だった。彼女たちが所属するのは、沙那コーポレーション社長室秘書課。他にも課員は大勢いるが、雨蘭と蒼羅の身の安全を守るように命じられたのは二人だけである。ひと月に一度、リーベルとカヒリエは沙那本社に赴き、自分たちの仕事内容を報告する。ネット全盛の当世に現地報告とはアナログ極まりないけれど、それを命じて逝った六原純は自分以外の誰も信用してはいなかった。

機密保持の為、何重にも鍵のかけられた地下の特別室には、リーベルとカヒリエのデスクしかない。四方は壁、ネットの電波もここまでは飛んでこない。観葉植物の鉢一つない殺風景なこの部屋はまるで牢獄のようだ。

雨蘭と蒼羅の体調管理が主任務のリーベルは、ここひと月の間に取った医療データをアップロードし、警護メインのカヒリエは報告書に『特になし』と書き込むと筋トレを始めた。

「見た感じ、何とも、ないよう…なっ…と」

片腕で腕立て伏せに精を出すカヒリエをよそに、リーベルは真剣な顔つきで以前のデータを睨んでいる。

「…確かに、生体データに異常はないわ。でも」

いつも歯切れよく喋るリーベルにしては、語尾が曖昧に濁る。何かあっても冷静に判断を下す彼女にしては珍しい姿に、カヒリエは筋トレを

中断して立ち上がった。日焼けした頬に、安堵を誘う微笑みを浮かべる。

「お嬢が今月から幹部研修始まるから、奥様も不安になってるんじゃないんスか？」

「そういうもの…なのかも知れないわね」

光る画面の数値を指でなぞって、ため息をつくようにリーベルが呟く。モニターの光が影を作って、リーベルの無表情が不思議と沈鬱に見える。

「カヒリエ、お嬢様の警護をより一層気を付けてやって頂戴」

それだけ言うと、リーベルは端末の電源を落とす作業を始めた。

何をそんなに気にするのかと首を傾げたカヒリエだったが、いつもの通り「ウッス、了解ッス」とポーズを決めて返事をしておいた。

蒼羅の研修が始まった。本来なら蒼羅は夏休み、遊び回りたいのを我慢して沙那本社に朝から晩まで拘束されるのだ。蒼羅の立場の重要性を理解してはいるものの、これまで毎日付き添ってきたカヒリエは同情を禁じ得ない。

そしてもう一人。始めて沙那に出掛ける朝、玄関にいつまでも立ち尽くして蒼羅を見送っていた雨蘭にも、だ。

「幹部って色んなコト勉強しなくちゃなんスね」

「うん、頭パンクして死にそう…。母様は頭良かったから余裕だったんだろうなあ」

「お嬢だってその血が流れてんスから！今はまだ現実的じゃないからイマイチでも、理解できればばつと捌けますって！」

「カヒリエの格闘術の座学と比べてない？」

「いや、自分の時の教官は雪代先輩で」

「あー…詰め込まなきゃだね」

「ッス」

「知識は後で活きますって…自分が言っても嘘臭いスけど」

「うん、大丈夫、すぐ分かるよ。研修頑張ってるよね、ママすごく誉めてくれるんだよ。ママの笑顔のために今日も耐えるぞー」

蒼羅の自宅から沙那社はそう遠くない。仰々しい紗那からの送迎車を断った蒼羅は、毎日こうしてカヒリエと話しながら十分ほどを歩くのだ。

「今日は何やるんスか？」

「多分またビデオかな。昨日社史だったし、関連企業とかのも見ろんだって。資料室で一人鑑賞会だから帰りに連絡するね」

「ウッス、了解ッス！お嬢、頑張って下さい！」

エントランスを入ったところで、蒼羅は手を振りながら資料室の方向へ曲がっていった。

午前中はジムで軽いトレーニングを行う。蒼羅の呼び出しを待ちながら、一通りのメニューをこなしていると、短くベルの音がして人工音声が電話の着信を告げた。

「はい、カヒリエ——」

蒼羅にしては時間的に早い。発信者の名前を確かめてみると、蒼羅の自宅にいるはずのリーベルからだった。小さくて聞き取り辛いのが、何かの規則的にきしむ音と布の擦れる音がする。相手がリーベルでは、間違いない電話というのと考えられない。何か意図があって掛けているのだろうか？蒼羅自宅に賊が押し入って、リーベルと雨蘭が人質に、という線まで考えた。もしやと思ってポリリウムを上げてみると、押し殺した声が聞こえてきた。

「っん…んん…っ」

くぐもってはいいるが、その声をカヒリエはよく知っている。切れ切れに続く声と音を、目を丸くしたままたっぷり十数秒聞いてから、初めて電話の向こうで何が行われているのか思い至った。

「せ、先輩ッ」

思わず叫んだ声に、ジムで汗を流している同僚たちが振り返る。最早、蒼羅の護衛のことはカヒリエの頭から吹き飛んでいた。ジムのドアに体当たりせんばかりの勢いで駆け出すと、周囲も省みず全速力で沙那社屋を後にした。

六原関係者を狙ったテロ、強盗、強姦。可能性の限りに考えながら、リーベルのマイクロチップが示す部屋へと入る。そこはこの家の女主人、雨蘭の部屋だった。

「あら早かったわね…——遅かった、と言ってあげるべきかしら？」

カヒリエが来るのを待ちかねていたように、全裸の雨蘭がベッドの上から優雅にほほ笑む。雨蘭の目の前に、腰だけ高々と持ち上げた姿勢で髪を振り乱しているのは、リーベルだ。

ディルドを装着した雨蘭の腰がリーベルに打ち付けられると、ぐじゅっとした水音と共に白い尻が揺れて、聞いたこともない嬌声がリーベルの口から上がる。

恐れていた事態ではなかった安堵と、意外な場面に遭遇した驚愕で思わず脚の力が抜け、カヒリエは床の上に膝から崩れ落ちた。

「奥様っ…あぁっ、おやめ、くださいっ」

「我慢しなくていいのよ、リーベル。さっきよりぬるぬるじゃない、カヒリエに見られるのが気持ちいいんでしょう？」

雨蘭が体位を変えて、リーベルの片膝を持ち上げる。カヒリエへ繋がっている部分を見せつけるように。

「ほら、カヒリエを意識させる度に、私のから搾り取るみたいにきゅうきゅう締め付けて」

ひどくゆっくりとパイプを抜いて浅い場所を軽く抉ると、溢れた大量の汁がシーツの上に新たな染みを作る。

「イきたいならカヒリエに向かって座って。そう、恥ずかしがらずに脚を広げなさい、リーベル」

雨蘭の命じるまま、リーベルが振り向いてベッドの上に座り直す。膝を立てたまま足を広げると、その白い臍の下に雨蘭と同様の挿具がセツトされていた。先程まで弄ばれていた孔は真っ赤に充血して、愛液で光る肉壁を小刻みに蠢かせている。

リーベルの膝を肘置きのようにして、雨蘭がリーベルの膝の間にゆっくりと腰を下ろす。細い腰に不似合いなほど大きなそれが、苦もなく雨蘭の膣内に埋め込まれてゆく。

「は…ああ…奥様…っ」

「ん、うん…ふふ、いつもより大きくして。もう汁まみれじゃない」
余裕の笑みで雨蘭が腰を揺らすと、背後のリーベルから悲鳴が上がる。それをしばらく楽しんでから、雨蘭は動けないままにいるカヒリエにも微笑みを向けた。

「カヒリエ、手伝って頂戴？リーベルの欲張りな雌孔をちょっと弄ってくれればいいの。乱暴にしてもいいのよ」

続きは製品版でお楽しみください。

スマホ対応電子書籍サービス 《マンガ読破!EX》にてユリ母iN無料配信中!



* マンガ読破さんのPRバナーです
* 先方掲載了承済

スマホ対応・エロ漫画も有りの
電子書籍サービス「マンガ読破!EX」で
ユリ母iN本編を配信中!3話からは、
読破!がweb先行無料配信です!
広告つき無料配信で、収益の一部は
作者に還元されます。
投げ銭感覚でご覧頂ければ
大変励みになります!

マンガ読破!EX(メンズコミック/エロ漫画)
<http://dokuha.jp>「ユリ母iN」で検索!



マンガ読破

62

2017/5月配布 ユリ母iN告知 フライヤー

配布イベント
コミティア120
東京レインボープライド
ABnomal Comic Day!3
ガールズラブフェスティバル

デザインは小説ゲストの
ツヅラカヅサ殿に
お願いしました



『これは私とママと母様の物語』

《私》
みなづき そら
水無月 蒼羅

《ママ》
みなづき うらん
水無月 雨蘭

《母様》
ろくはら じゅん
六原 純

水無月蒼羅には二人の母親がいる。
八年前に死んだ《母様》六原純と、純の愛人であり蒼羅が愛する《ママ》
水無月雨蘭。
純の跡取りとして歩み始めた16歳の夜、蒼羅は今まで秘かに抱いていた
想いを雨蘭に打ち明ける。
絡まる思惑と乱れ纏れる肉体、熟女と乳と触手特盛の目の離せない連載が
webで無料公開中!詳しくは下記URLへ!

イベント予定
5/28 ABCD!3 内触手オンリー
6/11にくけつ5
8/13コミケ92(当落待ち)★3巻発行
8/20コミティア120
詳細はFB/TWIにてご確認ください!

facebook/twitter @yuriboin

ピアチカ

マンガ読破

ピアチカ*ユリ母iN目次
http://biatica.com/wp/?page_id=30
マンガ読破!EX(スマホ対応電子書籍サイト)
<http://dokuha.jp/comicweb/contents/comic/yuriboin>

HP【ビアチカ】レズビアンエロチカ

女性作家による18禁レズ創作サイト「レズビアンエロチカ」
略称&サークル名は「ビアチカ」 web漫画、イラスト、小説
等。

ユリ母iNほか読み切りも多数公開！

<http://lesbianerotika.skr.jp/>



ビアチカのユリ母iNもくじ

ユリ母iNweb漫画版の目次のほか
マンガ読破！や他サイトでの
配信情報、同人誌&イベント情報等も
公開してます

http://biatica.com/wp/?page_id=30



ビアチカEnty&Fantiaについて

クリエイター向けパトロンサイト

Enty&Fantiaにてユリ母iNやビアチカweb漫画の
見開きPDFを一般公開、同人誌データ特典画像を
支援者様に配布してます！

<https://enty.jp/biatica>

<https://fantia.jp/biatica>



【母子相姦・毒母百合】ユリ母iN ③
ママをください



奥付

発行/ピアチカ
発行日/2017/08/13
印刷所/(株)サングループ 殿
連絡先/メールフォーム有
<http://biatica.com/wp/>

※本書は成人向です。
18歳未満の閲覧を禁止します

謝辞

スペシャルサンクス
藤間紫苑 殿(ゆりにん作者)
[twitter@fujima77](https://twitter.com/fujima77)



著者
ピアチカ副代表/S,夜紫蛇
[pixivID:54535](https://www.pixiv.net/member/entry.php?pid=54535)

監修

監修・サブタイトル
ピアチカ代表/水月モニカ
[twitter@midu_ki](https://twitter.com/midu_ki)



ロゴデザイン
カオリンミノグ 殿
[twitter@smkkaorin](https://twitter.com/smkkaorin)



ゲスト小説・表紙デザイン
ツツラカツサ 殿
*ピアチカblogにゲスト小説有



ゲストイラスト・漫画
左利き 殿
[pixivID:92527](https://www.pixiv.net/member/entry.php?pid=92527)

印刷

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

●●●あとかぎ●●●

お手に取っていただきありがとうございます！ピアチカのS,夜紫蛇(エスヨシダ)です。
想定外の事が重なり2巻発行から1年以上経ってしまいました。
2巻を以前購入いただいた皆様、お待たせ致し恐縮です。

ユリ母iNはWEB漫画です。1話毎に同人誌も発行致します。
本編はEnty&Fantia、マンガ読破!EX、同人誌(DL版有)で先行公開し、
次号発行までにはpixivやHPで無料公開します。詳細は前頁をご覧ください。
同人誌は先行で読みたい方、本としてお手元に置きたい方向けですが
オマケやゲストコンテンツは同人誌版に今後も収録いたします。
宜しい方法でユリ母iNをご覧くださいければ幸いです。

2017年8月13日
ピアチカ S,夜紫蛇 拝



ご感想はお気軽に。HPメールフォームやweb拍手
SNSコメント等にお寄せいただくと嬉しいです。

●●●サイト&SNS●●●

ピアチカHP
Enty
fantia
pixiv
twitter
pawoo

<http://lesbianerotika.skr.jp>
<https://enty.jp/biatica>
<https://fantia.jp/biatica>
<http://pixiv.me/nouskjp>
【ユリ母iN】@yuriboin 【ピアチカ】@R18yurifuta
@yuriboin





GuestComics: 左利き

Guest Novel: ツヅラカツサ

女性作家によるエロ百合創作サイト
『レズビアンエロチカ』にて
大好評連載中の web 漫画
『ユリ母 iN』 第三話を完全収録！
豪華ゲストと新展開の本編！

著者 S, 夜紫蛇
監修 水月モニカ
ロゴ カオリンノミーグ
発行 ビアチカ

あらずじ

水無月蒼羅には二人の母親がいる。

8年前に死別した〈母様〉六原純と最愛の〈ママ〉水無月雨蘭。

雨蘭を女として愛してしまった蒼羅は長年の想いを告げ、恋は実ったかに見えた。しかし雨蘭の浮気で蒼羅の中にいた〈母様〉が表面化し、蒼羅の体を操り始めた。生前の性嫌悪のない新たな肉体を得た純は、雨蘭を抱く。

情事の最中従順に見えた雨蘭だったが、純の一言で豹変し、独占欲から純の処女を奪ってしまうのだった。